

教えて! 市立病院



2階外来待合

新市立病院が11月1日(水)に開院し、11月6日(月)からは外来診療が始まります。

これまでは、診察の順番が来ると、医師や看護師が患者さんをお呼びしていましたが、新病院では呼び出し方法が変わります。どのように変わるのか質問にお答えします。

〈新病院情報 第7回〉

外来患者さんの呼び出し方法が変わります

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

Q 名前で呼ばれるの？

A 受付番号でお呼びします。外来待合のモニターに、番号を表示し自動音声でお呼びします。

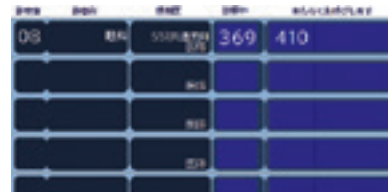
Q どんな表示になるの？

A 診察の順番が来た患者さんの呼び出し表示がイメージ①です。



イメージ①

また、アメニティセンターのレストランやラウンジではイメージ②のように、診察中の患者さんと



イメージ②

間もなくお呼びする患者さんの番号が表示されます。

新病院では外来受付の方法なども変わります。ご不明な場合は病院スタッフにお気軽にお声掛けください。

新病院の情報は、市立病院ホームページをご確認ください。

米沢市立病院
ホームページ

目指せ! 健康長寿 日本一

★★★

皆さんが安心して医療を受けるためには、一人ひとりの医療のかかり方が大切です。上手に医療にかかることは、時間的、体力的、金銭的な負担が軽くなるほか、医師や看護師の医療従事者側の負担も軽減されます。上手な医療のかかり方を実践して、かかり方上手になりましょう。

ポイント1

かかりつけ医を持ちましょう

かかりつけ医とは、診療や健康に関することを相談できる身近な

〈第66回〉

今日から実践！上手な医療のかかり方 ～11月は「みんなで医療を考える月間」です～

■問合せ／健康課健康企画担当 ☎ 22-5111

医師のことです。日頃の健康管理、体調が悪いときなど、かかりつけ医がいると気軽に相談できます。

ポイント2

健康診断・がん検診を受けましょう

健康維持には健康診断で健康状態をチェックし、自分の体をしっかり知ることが大切です。定期的に健康診断やがん検診を受けることで早期発見・早期治療につながり、体の負担や金銭的な負担を減らすことができます。

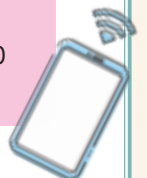
ポイント3

救急外来の適正受診を心掛けましょう

救命が必要な重症患者の緊急な対応の確保のほか、医療従事者の過重負担を減らすためにも、軽い症状にも関わらず休日や夜間の時間帯に救急外来を受診する、いわゆる「コンビニ受診」は控えましょう。

医療機関にかかるべきか迷った場合は、救急電話相談がありますので利用しましょう。

小児救急電話相談 #8000
または ☎ 023-633-0299
大人の救急電話相談 #8500
または ☎ 023-633-0799





〈第10回〉

再び息を吹き込んで、モノにも
子供たちにもつなぐ未来

■問合せ／政策企画課企画調整担当 ☎ 22-5111



代表の稲毛亮介さん

市内でパソコンなどの電子機器の出張買取・修理販売を行っている「Connect」(コネクト)の稲毛亮介さんにお話を伺いました。

稲毛さんは、自動車整備士や通信機器のエンジニアなどを経て、

さまざまな機械機器の修理やメンテナンスに携わる中で、手を加えればまだ使えるものが安易に廃棄されたり、処分されず倉庫に滞留したりしている現状を目の当たりにしたことから、昨年8月に現在の事業を開始されました。

買取や譲渡されたパソコンなどの精密機器を分解・清掃・修理・セットアップを行い、ほぼ廃棄せず、できる限りリユース・アップサイクルをします。全く修理ができないものは最終手段として資源のリサイクルを行います。

また、昔のゲーム機やゲームソフトも扱っており、限りある資源の再利用だけでなく、過去の文化を後世に残していく取り組みも行っています。

今後は多くの人に電子機器もリサイクルが出来る事を知ってもらい、まだまだ埋もれているものを発掘して廃棄物削減に貢献したり、一度役目を終え居場所を失ったものに再び息を吹き込み、それによって得た収益を使い、居場所のない子どもや望まない状況にある子どもたちを支援する仕組みを作りたいと話してくださいました。



修理作業の様子

わたしのなせばなる



取組紹介



募集ページ

よねざわ
文化財散歩

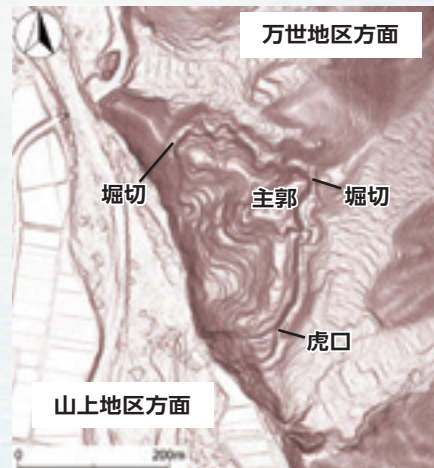
〈第17回 前編〉

さざじょうあと
鷲城跡

■問合せ／社会教育文化課文化財担当 ☎ 22-5111

今回は、万世地区と山上地区にまたがる中世の山城「鷲城跡」を紹介します。令和4年3月に両地区の有志により「鷲城史跡保存会」が結成され、案内板や説明板の設置、駐車場の整備などが進められています。

鷲城は、東北中央自動車道米沢八幡原インターチェンジから南へ約1kmに所在し、標高345m前後の丘陵に築城されています。規模は東西約220m、南北約360mで、北面と東面は切岸(人工斜面)や堀切を設け、西面から南面は羽黒川の旧河道を堀としていたと考えられます。



鷲城跡の
赤色立体地形図

江戸時代中～後期に米沢で編纂された「米澤事跡考」などの地誌書(地域の自然や歴史などを記述した書物)にその名が見られ、伊達氏の家臣大津土佐守、土肥多(戸板)備中守、小梁川泥幡(盛宗)など複数の人物が在城した記述があり、鷲城以外の別称があったこともわかります。

遺構は非常に良い状態で保存されており、地形を巧みに利用して敵の進入を防ぐ工夫が各所にみられます。落葉が始まるこの時期は、お城を巡る絶好の季節ですので、興味のある人はぜひ訪れていただきたい市内屈指の山城です。